

御門豊玄 匠の技

～手彫りが奏でる光の世界～

9月19日(木)～10月15日(火)

第1旅客ターミナル中央ビル本館 5F NAA アートギャラリー

06:00～22:00(最終日 15:00 まで)

NAA アートギャラリーでは、御門豊玄氏による彫金作品展を開催いたします。

彫金は鉄の鑿(たがね)を小さな金槌で打ち、金銀銅鉄等の金属に文様を表す技法です。古くから仏像・宝物などに見られ、優れた耐久性と彫の美しさが称えられています。同氏の作品は、独特の技法によって、金属の表面が平面でありながらも立体的に輝く、他に類例のない光のオブジェのような作品です。手彫りが奏でる光の世界をご堪能ください。



<御門 豊玄(みかど ほうげん)>

1926年静岡県生まれ。1947年より独学で彫金を始める。以来、経典、佛画、浮世絵等200点以上の作品を制作し、川崎大師・永平寺・東寺・成田山など、多くの神社仏閣に経典や佛画を奉納。また全国で個展を開催し、昨年は静岡市美術館で東海道五十三次を出展、今春は初のニューヨーク展に出品し、好評を博す。2014年1月には、ニューヨークで個展を開催予定と、87歳の現在も精力的に制作中。